

ウィルでみつけた本 Books

2008.3

No.15



ウィルながおかでは、女性、男性の生き方・子育て・介護・からだ・性などの本や、男女共同参画に関する専門書や行政資料を取り揃え、みなさんにお貸ししています。「Books ウィルでみつけた本」はより多くの方にウィルながおかの図書をご利用いただくために、市民の皆さんとウィルながおかをつなぐ情報紙です。



とにかくさげんでにげるんだ

わるい人から身をまもる本

ベティ・ボガホルツ / 作
安藤由紀 / 訳
河原まり子 / 絵
岩崎書店

久しぶりに小学校1年生の娘と一緒に絵本を読みました。デパートで迷子になったら…公園で知らない人に声をかけられたら…様々なシチュエーションごとに話があるので、順番こに声に出して読みました。本の中で性被害の話が二つあるのが印象的でした。子供はそれがどういうことか何も知らないで、知らない人に身体中をさわられたりすることにとってもびっくりしていました。普段「知らない人にはついていっちゃダメだよ」ってこと位しか話をしていなかったのが親子で「こんなこともあるんだよ。その時はどうしたらいい?」と確認できてよかったです。(S)



もうすぐ30歳になるあなたへ

「私」らしくシンプルに

亀山早苗 / 著
大和書房

いつの間にか20代も折り返し、もっと大人になりたい…と悩んでいた時、この本を読んだ。著者によれば、現代は女性の選択肢が増え、それだけに悩む人も多いという。「人生は選択の連続であり、自分で選択することに意味がある」、「自分を幸福にするのは自立した自分」という言葉が胸に残った。20代を振り返ると、結婚、出産、仕事…いろんな選択をしてきた。今後の人生もきっとたくさんの選択が待ち受けているのだろう。けれど、後で後悔して誰かを恨むことのないよう、自分で選択していきたいと思った。結婚や仕事、人生の選択肢に迷う20代の女性にオススメの1冊。(A)



おひとりさまの老後

上野千鶴子 / 著
株式会社 法研

“おひとりさまの老後” 私にぴったり! と思って手にした。がそれだけでなく、みんな最後は一人になる私たちへのエール…一人暮らしの老後の不安を除く、知恵と工夫の本だった。ひとり暮らしの老後の基本は“ひとりが基本の暮らしに向き合うこと”とある。私はひとり身だったせいか、これは大丈夫。孤独をさみしいだけでなく心地よいと感じる。むしろ一人っきりの時間がないと消耗してしまう方だ。これからはひとりで頑張るすぎた自分をゆるめてゆったりしよう。こんな気持ちになれたのは“最後はみんなひとり”という言葉に込められた上野さんの優しさのおかげだ。(M)

新着本です



地域女性史入門

折井美耶子 / 著 ドメス出版

地域女性史研究に関する手引書。著者が、これから地域女性史を編纂したい、聞き書きも初めてという人のために地域女性史についてわかりやすく解説。



女と男のBOOKナビ

(財) 横浜市男女共同参画推進協会 / 編

2003年から4年半の間に、「神奈川新聞」書評欄に寄稿した書評から82編をセレクトした。男女共同参画の視点から、仕事、家族、心などのテーマ別に紹介している。

上記の本はウィルながおかで貸し出しています。また、調べたいことがあるとき、必要な資料が見つからないとき、どういう情報があるか知りたいときは、気軽にウィルながおかにおたずねください。

発行：男女平等推進センター **ウィルながあり**

長岡市大手通2-2-6(ながおか市民センター2階)
TEL(0258)39-2746/FAX(0258)39-2747/E-mail:will@city.nagaoka.lg.jp

企画・編集担当：佐藤治子・水沢典子<ウィルサポーター(市民ボランティア)>
ウィルながおかで借りた本の感想をお寄せください。お待ちしております。